



岩国市立岩国中学校
2 学年通信 No. 7
2019年11月21日(木)

文化祭・人権参観日がありました

10月25日～26日には文化祭、11月17日には人権参観日・講演会を開催いたしました。どちらも生徒たちは自分の良さ、仲間の良さ(輝き)を進んで探しました。その活動から自分も仲間も、そしてそれをつなぐ「言葉」も大切にしていけることの重要性を学ぶことができたと思います。

たくさんの保護者の方に来校していただき、ありがとうございました。

文化祭

10月25日～26日の2日間にわたり、文化祭が行われました。この日のために、生徒たちはクラスや学年の仲間と協力して、合唱コンクールの練習や展示づくり、学年発表(ダンス)に一生懸命取り組みました。



人権参観日

11月17日に人権参観日がありました。道德の授業では「自分とは何か」、リフレーミング(自分の短所を長所に置き換える)を行いながら、短所を長所にするためにはどうしたらよいか、互いに考え伝え合いました。また、講演会では、講師の塚田先生の落語を楽しみながら「言葉の大切さ」や「言葉の力」を知ることができました。



生徒の感想から

- 言葉は生きる上で欠かせないもので、人をいたわることも、つきさすこともできる刃だと知りました。コップの話は聞いたことがありましたが、人の心の状態にあったコップの大きさの限界の水がたまらないように心がけたいです。
- 講演を聞いて、言葉には相手を優しさで包み込んだり、笑ったり、泣いたり、けんかしたりする力があることが分かりました。1つ1つの発する言葉を大切にしていかなければならないということを学びました。



